

2-2 床版厚と活荷重設計曲げモーメント

(1) 床版厚の規定

1) RC 床版

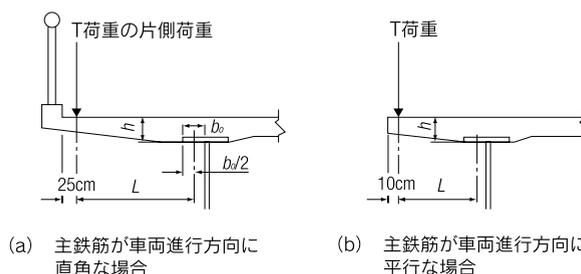
RC 床版の最小床版厚は、道示Ⅱ鋼橋編 6.1.5 床版の最小全厚の規定に従うものとする。
 (大型車の交通量による割増有り)

表-2.2.1 車道部分の床版の最小全厚 (cm)

版の区分	床版の支間の方向	
	車両進行方向に直角	車両進行方向に平行
単純版	$4L + 11$	$6.5L + 13$
連続版	$3L + 11$	$5L + 13$
片持版	$0 < L \leq 0.25$	$28L + 16$
	$L > 0.25$	$8L + 21$
		$24L + 13$

ここに、

L : 下図に示す T 荷重に対する床版の支間 (m)



2) PC 床版

PC 床版の最小床版厚は、道示Ⅲコンクリート橋編 5.4.2 プレストレストコンクリート床版の規定に従うものとする。
 (大型車の交通量による割増無し)

表-2.2.2 床版の1方向にのみプレストレスを導入する場合の車道部分の床版の最小全厚 (cm)

床版の支間の方向 プレストレスを導入する方向	床版の支間の方向	
	車両進行方向に直角	車両進行方向に平行
床版の支間の方向に平行	表-2.2.1の床版の支間の方向が車両進行方向に直角な場合の値の90%	表-2.2.1の床版の支間の方向が車両進行方向に平行な場合の値の65%
床版の支間の方向に直角	表-2.2.1の床版の支間の方向が車両進行方向に直角な場合の値	表-2.2.1の床版の支間の方向が車両進行方向に平行な場合の値

3) 合成床版

合成床版の最小床版厚は、土木学会鋼構造物設計指針 PART B 合成構造物 7.5 コンクリートの最小厚に従うものとし、単純版、または連続版のコンクリート厚さは、式 (2.2.1) の値、または15 cm 以上とするのを原則とする。
 (大型車の交通量による割増無し)

$$H_c = 2.5L + 10 \dots\dots\dots (2.2.1)$$

ここに、 H_c : コンクリート部の最小厚さ (cm)

L : 床版支間 (m) (底鋼板厚含まず)

なお、橋建の推奨する値は 2-5 合成床版を参照のこと。